

- 1) 移植樹木の
- 2) 移植の方法
- 3) 移植の難易
- 4) 移植の時期
- 5) 移植の技術
- 6) 工程計画
- 7) フロー

内容イメージ

移 植

1) 移植樹木の調査

移植樹木の状態の調査項目、
搬方法等の施工条件を検討す

根鉢寸法、根廻し・掘取り・積込み運

a. 樹 勢

移植の可否は樹勢の上か
植が容易であるが、老木、
ので注意する。

。若木のように生長の途中の樹木は移
かった樹木では困難となることが多い

b. 根の状態

地下部に隠れている根の
の張り方などをもとに推
取りの段階で臨機応変な

特性、樹勢、土壤環境、地表部分の根
でも推定の域をでず、根廻しまたは掘

c. 根鉢の寸法

所定の根鉢寸法を確保で

物の有無などについて調査を行う。

d. 施工条件

根廻し・掘取り、積込み

る。

2) 移植の方法

移植は、移植時期、工期、
一定期間養生した後移植す
大木、老木、貴重樹木につ

的に移植する場合と根廻しを行い、

行うようにする。

a. 根廻し

(1) 特に移植困難な樹種で
行うことになる。根廻し
遅くとも秋に入るまで

よくするために、あらかじめ根廻しを
せて、春期萌芽前に行うのが最もよく、

(2) 落葉期以後、生長の止

がほとんどないので好ましくない。

(3) 春期根廻しを行った植
翌年春または梅雨期に行
する必要がある。

年の秋か翌年の春先に、常緑樹では
はさらに 1 年後にずらすことも考慮

(4) 根廻しの方法には溝掘
溝掘式

・移植時の運搬と移植
む。掘込み時には樹木の支持根は残す。

の 3~5 倍の鉢を定め、周囲を掘り込
は残す。

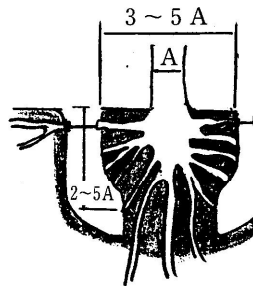
・支持根は三方か四方にとり、他の根は鉢に沿って切断する。切断には鋭利な刃物を使用し、切口を切り直す。残された支持根は幅 15cm 程度に環状剥皮を行う。

内容イメージ

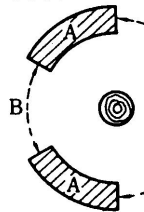
・大根の処理が終わったあと、根巻き、縄締めを行い、仮支柱を掛けて表土を埋め戻し、埋め戻し後、枝葉を減量したうえ養生を行う。この方法を 2 回に分けて行う場合もある (図 4・3 - 22)

断根式

- ・この方法は溝掘式根巻きと同じように、根だけ切断する方法
- ・方法は幹の周囲を掘り下げて、地表から根を切り離す。根廻し後の養生と同じである。



2回根廻し法



3) 移植の難易

a. 植物と気候

造園の植栽に当たっては、その地域の寒・暑の極限を十分に把握し、植物の耐寒・耐暑性を考慮する必要がある。

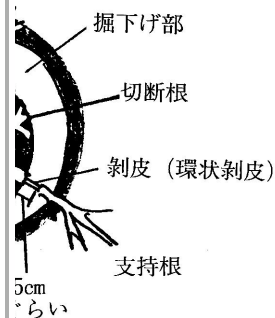
b. 根の形態

植物は種類によって根の形態が異なり、根の太さや長さ、根の分布などが異なる。粗根、直根、側根、根毛などがあり、根の形態によって移植の難易度が異なる。粗根、直根、側根の多い植物は移植が容易なものが多い。

内容イメージ

根巻きを行わず、かつ、底根を残し側根を切り離すだけであり、簡単な方法とも効果がある。根廻し後の管理は植栽後の管理と同じである。

根巻きを行わず、かつ、底根を残し側根を切り離すだけであり、簡単な方法とも効果がある。根廻し後の管理は植栽後の管理と同じである。



し箇所

廻し箇所

去

ことが重要であり、その地域・地区で

根、細根、粗根、密生根、直根、側根などがあり、根の形態によって移植の難易度が異なる。粗根、直根、側根の多い植物は移植が容易なものが多い。

c . 生長力

根部の再生力(発根力)の強いものは移植容易であるが、再生力の弱いものは移植困難な場合が多い。

4) 移植の時期

a . 不適期に行えば技術的に
木、老木、貴重木など

b . 移植の時期は植物の生長
期から発芽前までがよ
い。常緑広葉樹の場合
では寒害をうけやすい
(移植の時期...東京附

(1) 針葉樹

2月上旬から4月中旬
から10月下旬。

(2) 常緑広葉樹

最適期は4月初旬か

(3) 落葉樹

最適期は2月上旬か
後)

(4) 竹 類

地下茎の生長が始まる

する場合がある。特に大量の移植、大

。落葉樹は、植物の生長の止まる休眠
能であるが、一般に発芽直前が最もよ
く、暖かい季節がよい。関東地方以北
である。

月上旬(萌芽前)、続いて9月下旬か

て6月中旬から7月下旬の梅雨期。

続いて11月下旬から12月下旬(落葉

月上旬、寒竹は10月上旬。

5) 移植の技術

a . 枝葉の勢除

(1) 植物の地下部と地上部

(2) 移植は樹木を移動させ
樹勢を弱める。これを防
地上部のバランスを調整

(3) もし枝葉の剪除を行わ
給が不足し、萎凋現象
近年は幹、枝葉からの蒸
植時には適宜使用する。

バランスがとれていなければならない。
から、水分の吸収量が極端に減少し、
らかじめ枝葉の勢除を行い、地下部と

蒸散作用に対する地下部からの水分補
いき、ひいては枯死に至る。

布による活着促進方法もあるので、移

b . 断根部の腐敗防止

(1) 根の断根面は清潔に保

(2) 掘取りによって傷めら

(3) また、休眠期以外の植栽

あるいは、根部に発根促進剤を散布する場合は、生育を高めるとともに、活着後の良好なる
生育をはかる。

なければならない。

直して、殺菌剤等による消毒を行う。

う場合には蒸散抑制剤を散布するか、

内容イメージ

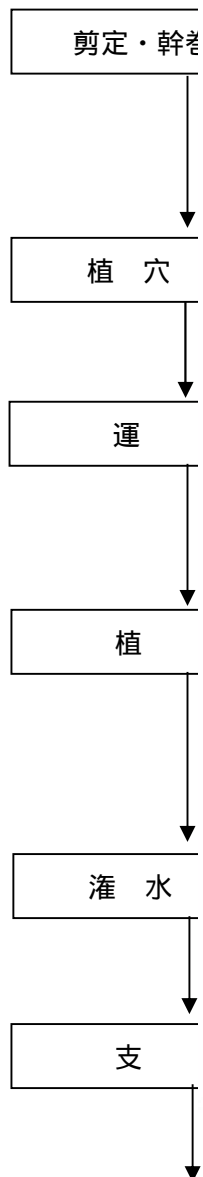
c . 支柱による固定

移植され、固定された樹木は、発根のためには新しい土と根部とを密着させることが必要であり、また断根部からは新根の切断につながり、活着を遅くする。新根の保護のため支柱取付けは必ず行う。

6) 工程計画

- (1) 大量、多種類の樹木の短いものがあつたり、やはり移植計画を組む。
- (2) 大木、老木などの根廻り立てる。

7) 移植のフロー



内容イメージ

木が風等によって揺れることは新根の

て移植の適期が同時であつたり、適期

ては、養生期間を考慮した工程計画を

フラス) および人力にて掘削し掘取る。
根本径の5倍とし、鉢が崩れないよう

、成育に障害となる物は取り除く。

ないよう十分注意する。
慎重に運搬する。

堆物を除去する。
り周囲の状況を考慮し、見映え良く植
(シート使用)

